**④ 冷戦下のソ連と東ヨーロッパ**

年　　　　組　　　番　名前

**１　社会主義陣営のひきしめ**

① 戦後のソ連

　 ●大戦で2500万人以上の死者

　 ●工業生産の拡大をめざす（第４次五か年計画）

　　 →工業生産は成長→生活向上につながらず国民の不満→政治的統制の強化

② 戦後の東ヨーロッパ

　 ●ソ連の影響下で〔①　〕が展開…王政廃止や土地改革など

　 ●冷戦にともないソ連の支配力の強化

　　 ・各国で共産党の一党独裁体制に

　　 ・農業集団化などソ連型の社会主義化

**２　スターリン批判**

① スターリン死去（1953）

●ソ連共産党第20回大会（1956）

　　 …〔②　　〕第一書記：〔③　〕演説

② フルシチョフ：米ソ平和共存外交（1958〜）

　 ●中国共産党からの批判→中ソ論争へ

**３　東ヨーロッパの変革と抑圧**

① スターリン死後の東ヨーロッパ

　 ●ソ連でスターリン批判（1956）→ポーランド・ハンガリーで民主化運動

　●ポーランド：〔④　〕がソ連に配慮しながら一定の改革

　 ●ハンガリー：ソ連軍の介入→ワルシャワ条約機構脱退を阻止

② 1960年代の東ヨーロッパ

**●**東ドイツ：〔⑤　〕建設（1961）

…東ベルリンから西ベルリンへの移動の阻止

●チェコスロヴァキア：〔⑥　〕（1968）

　　 …ドプチェク指導下での民主化運動→ソ連によるワルシャワ条約機構軍の介入

**４　ブレジネフからゴルバチョフへ**

① ブレジネフ書記長時代（1964～82）

　 ●1970年代後半に経済的停滞

　●〔⑦　〕（1979）

…内戦中のアフガニスタンで親ソ派政権を支援→アメリカとの〔⑧　〕ヘ

② **ゴルバチョフ**書記長時代（1985～91）

　 ●改革政策（〔⑨　〕）

**●**情報公開（〔⑩　〕）

　 ●〔⑪　〕**原子力発電所**の爆発事故（1986）

　　 →ペレストロイカとグラスノスチを加速

　 ●新思考外交の展開…アメリカとの核軍縮交渉

**●アフガニスタン撤退**完了（1989）→冷戦終結へ

**５　ソ連の解体**

① 保守派のクーデタ（1991.8）…ゴルバチョフに批判的な勢力による

　 →エリツィンらの抵抗で失敗→**ソ連共産党の解散**

② バルト３国独立（1991.9）・ウクライナなどが独立宣言

→ロシア連邦を中心とする〔⑫　〕（**CIS**）結成

＝**ソ連解体**（1991.12）

**６　東欧革命**

① **東欧革命**の先駆け

　 ●東ヨーロッパ諸国…共産主義政党による一党独裁，人々の自由が制限された状況

　　 →1980年代にさまざまな改革進行

　 ●ポーランド：自主管理労働組合「〔⑬　〕」結成

　　 ・指導者：〔⑭　　　　〕（**ヴァウェンサ**）

　　 ・自由化運動開始（1980〜）

**＜Check＞　ここで述べられていることが顕著にみられたのは，いつごろだっただろうか。**

|  |
| --- |
|  |